

**平成２８年度 野田市郷土博物館及び野田市市民会館指定管理者
管理運営状況調書**

担当課 社会教育課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①利用者の平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①施設の利用促進の取組状況	B	B	
	②歴史、文化等に係る調査研究、資料の整備及び市民への情報提供への取組状況	B	B	
	③特別展、企画展、常設展の実施状況	B	A	
	④キャリアデザインに関する情報収集及び提供への取組状況	B	B	
	⑤キャリアデザイン支援のための具体的な事業の実施状況	B	B	
	⑥利用者及び利用団体のニーズの把握及びその反映の状況	B	B	
	⑦市民参加の実施状況	B	B	
	⑧自主事業の実施状況	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されているか	①緊急時の危機管理への取組	B	B	
	②利用者の要望や苦情への対応状況	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い等に関する経理処理の状況	B	B	

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理にかかる収支見込	B	B	
	②管理経費縮減のための取組状況	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際しての地元業者への配慮	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制	B	B	
	③人材育成への取組状況	B	B	
総合所見 指定管理の業務に係る仕様書の要求水準に基づき、適正に管理業務がなされている。 また、市民のキャリアデザインの支援についても、市民参加型の企画展開催や、寺子屋講座等のキャリアデザイン事業など、郷土博物館及び市民会館の役割が十分に認識され、施設の活用が効果的に行われている。 特に評価対象として、「特別展、企画展、常設展の実施状況」については、特別展「生誕 140 年 染谷亮作と川間村」の開催に関連し、川間公民館での講座開催や川間地区社会福祉協議会の会報への掲載など、地元の人に川間地域の歴史への理解を深めてもらい、郷土愛を育むための事業を行ったことから、要求水準以上の A 評価とした。 「市民参加の実施状況」については、平成 27 年度においては自主研究グループが立ち上がらなかった場合の市民のキャリアデザインをサポートする代替事業が未実施だったため C 評価であったが、平成 28 年度は、自主調査研究グループが結成され、活動も継続しており、要求水準を満たしていることから、B 評価とした。 「個人情報保護のための取組」については、平成 27 年度においては担当課から文書管理及び個人情報保護の徹底について指導をした事例があったため C 評価であったが、指導後は改善がみられ、平成 28 年度は、個人情報の保護や情報セキュリティについて、適切に運用されており、要求水準を満たしていることから、B 評価とした。 指定管理者には、引き続き、利用者のサービス向上に努めてもらいたい。				